



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年8月7日

上場取引所 東

上場会社名 テクニカル電子株式会社

コード番号 6716

URL <http://www.technical-e.co.jp>

代表者 (役職名)代表取締役社長

(氏名)嶋田 浩司

問合せ先責任者 (役職名)執行役員 管理本部 本部長

(氏名)広瀬 薫

(TEL)03(3762)5152

四半期報告書提出予定日 平成29年8月9日

配当支払開始予定日

—

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	1,720	3.8	56	292.3	44	—	12	—
29年3月期第1四半期	1,657	12.4	14	102.7	3	—	△24	—

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 13百万円(—%) 29年3月期第1四半期 △40百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	1.56	—
29年3月期第1四半期	△3.00	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	9,599	2,314	24.1
29年3月期	9,501	2,300	24.2

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 2,314百万円 29年3月期 2,300百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	1.50	—	0.00	1.50
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成30年3月期の配当につきましては、現時点では未定とさせていただきます。

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,700	4.6	230	286.5	180	796.0	50	—	6.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 -社 (社名) 、除外 -社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

30年3月期 1 Q	8,038,100株	29年3月期	8,038,100株	
② 期末自己株式数	30年3月期 1 Q	18,782株	29年3月期	18,782株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	30年3月期 1 Q	8,019,318株	29年3月期 1 Q	8,019,853株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(セグメント情報等)	P. 8
3. その他	P. 10
(その他)	P. 10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善により緩やかな回復基調で推移し、米国や欧州も景気拡大が続きました。一方、欧州の不安定な政治動向や米国経済政策の不透明感が高まる等、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような経済環境の中で当社グループは直営駐車場事業の拡大、駐車場機器及び電子機器部品の開発・販売に加え、環境事業（アグリ事業、アクア事業）の商品及び製品の販売を行い、売上及び利益の向上に努めてまいりました。

売上高につきましては、電子機器部品事業においては減収となりましたが、当社の主力事業である駐車場関連事業は、駐車場運営事業においては直営駐車場が増加したことにより増収となり、駐車場機器事業においても前年同期より堅調に推移し増収となりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,720,713千円（前年同期比3.8%増）となりました。損益面につきましては、営業利益は56,914千円（前年同期比292.3%増）、経常利益は44,754千円（前年同期比1,225.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は12,516千円（前年同期は24,028千円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より報告セグメントとして記載する報告セグメントを変更しており、当第1四半期連結累計期間の比較・分析は変更後の区分に基づいております。

<駐車場運営事業>

駐車場運営事業につきましては、直営駐車場が増加したことにより、売上高は882,282千円（前年同期比11.4%増）となり、セグメント利益（営業利益）は64,314千円（前年同期比42.0%増）となりました。

<駐車場機器事業>

駐車場機器事業につきましては、ロック板式集中精算管理システム“TPC-MP210”と電動油圧式ロックユニット“TPP-CL100”を中心に拡販を図りました。その結果、売上高は527,843千円（前年同期比11.8%増）となりましたが原価率が上昇したことにより、セグメント利益（営業利益）は85,192千円（前年同期比1.5%減）となりました。

<電子機器部品事業>

電子機器部品事業につきましては、売上高が低調に推移いたしましたが販売費及び一般管理費が減少いたしました。その結果、売上高は233,258千円（前年同期比3.4%減）となり、セグメント損失（営業損失）は16,051千円（前年同期は29,876千円のセグメント損失（営業損失））となりました。

<不動産賃貸事業>

不動産賃貸事業につきましては、売上高は21,901千円（前年同期比0.6%増）となり、セグメント利益（営業利益）は10,113千円（前年同期比21.5%増）となりました。

<その他>

その他は、アグリ事業（農事用商品等の販売）、アクア（水）事業（ウォーターサーバー及び水プラント用充填機等の販売）、太陽光発電事業（売電事業）等であります。売上高は55,428千円（前年同期比57.5%減）となり、セグメント利益（営業利益）は4,267千円（前年同期は5,093千円のセグメント損失（営業損失））となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、9,599,237千円（前連結会計年度末比97,280千円増）となりました。

流動資産につきましては、現金及び預金が増加したこと等により、3,912,045千円（前連結会計年度末比130,312千円増）となりました。

固定資産につきましては、減価償却費を計上したこと等により、5,687,191千円（前連結会計年度末比33,031千円減）となりました。

②負債

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、7,284,851千円（前連結会計年度末比83,391千円増）となりました。

流動負債につきましては、短期借入金が減少したこと等により、2,102,487千円（前連結会計年度末比150,176千円減）となりました。

固定負債につきましては、長期借入金が増加したこと等により、5,182,364千円（前連結会計年度末比233,567千円増）となりました。

③純資産

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、2,314,385千円（前連結会計年度末比13,889千円増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益により利益剰余金が増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年5月10日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,990,656	2,179,386
受取手形及び売掛金	566,531	505,556
たな卸資産	706,756	721,368
その他	524,108	512,785
貸倒引当金	△6,320	△7,051
流動資産合計	3,781,732	3,912,045
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,028,458	1,021,321
機械、運搬具及び工具器具備品（純額）	838,401	836,319
土地	2,573,082	2,573,220
リース資産（純額）	358,803	353,146
建設仮勘定	39,811	5,398
有形固定資産合計	4,838,557	4,789,406
無形固定資産		
のれん	300,504	290,749
その他	21,343	63,065
無形固定資産合計	321,848	353,815
投資その他の資産		
その他	626,936	611,088
貸倒引当金	△67,118	△67,118
投資その他の資産合計	559,817	543,969
固定資産合計	5,720,223	5,687,191
資産合計	9,501,956	9,599,237

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	295,019	316,988
短期借入金	397,500	300,000
1年内返済予定の長期借入金	849,804	880,792
未払法人税等	86,314	11,640
引当金	16,487	16,514
その他	607,538	576,553
流動負債合計	2,252,663	2,102,487
固定負債		
長期借入金	4,273,815	4,525,328
役員退職慰労引当金	22,874	21,792
退職給付に係る負債	26,983	27,019
資産除去債務	11,653	11,685
その他	613,469	596,538
固定負債合計	4,948,796	5,182,364
負債合計	7,201,460	7,284,851
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,052,850	1,052,850
資本剰余金	236,436	236,436
利益剰余金	1,081,850	1,094,366
自己株式	△5,166	△5,166
株主資本合計	2,365,969	2,378,486
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,860	3,569
土地再評価差額金	△116,933	△116,933
為替換算調整勘定	48,586	49,251
その他の包括利益累計額合計	△65,486	△64,113
非支配株主持分	12	12
純資産合計	2,300,496	2,314,385
負債純資産合計	9,501,956	9,599,237

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	1,657,840	1,720,713
売上原価	1,353,196	1,387,261
売上総利益	304,644	333,452
販売費及び一般管理費	290,136	276,537
営業利益	14,507	56,914
営業外収益		
受取利息	66	65
受取配当金	223	237
受取手数料	30	48
助成金収入	-	600
未払金取崩益	3,024	-
その他	1,429	945
営業外収益合計	4,773	1,897
営業外費用		
支払利息	13,223	12,959
為替差損	2,320	301
その他	359	797
営業外費用合計	15,903	14,058
経常利益	3,377	44,754
特別利益		
固定資産売却益	-	1,688
特別利益合計	-	1,688
特別損失		
固定資産除却損	7,633	5,943
事業構造改善費用	-	2,640
特別損失合計	7,633	8,583
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△4,256	37,859
法人税、住民税及び事業税	23,749	3,253
法人税等調整額	△3,976	22,089
法人税等合計	19,772	25,343
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△24,029	12,516
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△24,028	12,516

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△24,029	12,516
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△524	708
為替換算調整勘定	△16,316	664
その他の包括利益合計	△16,841	1,373
四半期包括利益	△40,870	13,889
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△40,869	13,889
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	△0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	駐車場 運営事業	駐車場 機器事業	電子機器 部品事業	不動産 賃貸事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	791,881	472,199	241,412	21,777	1,527,271	130,569	1,657,840
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	9,802	—	9,802	474	10,276
計	791,881	472,199	251,215	21,777	1,537,074	131,043	1,668,117
セグメント利益 又は損失(△)	45,293	86,447	△29,876	8,322	110,187	△5,093	105,094

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アグリ事業及びアクア事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	110,187
「その他」の区分の利益	△5,093
セグメント間取引消去	5
全社費用(注)	△90,592
四半期連結損益計算書の営業利益	14,507

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	駐車場 運営事業	駐車場 機器事業	電子機器 部品事業	不動産 賃貸事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	882,282	527,843	233,258	21,901	1,665,285	55,428	1,720,713
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	806	8,305	228	9,340	—	9,340
計	882,282	528,650	241,564	22,129	1,674,626	55,428	1,730,054
セグメント利益又は損失(△)	64,314	85,192	△16,051	10,113	143,568	4,267	147,836

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アグリ事業及びアクア事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	143,568
「その他」の区分の利益	4,267
セグメント間取引消去	606
全社費用(注)	△91,528
四半期連結損益計算書の営業利益	56,914

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、従来「アグリ事業」として記載していた報告セグメントについて、量的な重要性が低下したため、「その他」として記載する方法に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分により作成したものを記載しております。

3. その他

(その他)

当社は、平成29年3月6日開催の取締役会において、当社の事業の一部（電子機器部品事業、アグリ事業、アクア事業）を当社連結子会社であるE P E(株)（新社名：サンキューテクノス(株)）に譲渡することを決議いたしました。譲渡資産並びに負債について決定いたしましたので、お知らせいたします。

なお、連結会社間での取引であり、連結業績に与える影響は軽微であります。

(1) 当該事業の譲渡先の名称

E P E(株)（新社名：サンキューテクノス(株)）

(2) 事業譲渡の内容

① 譲渡する事業の平成29年3月期経営成績

売上高 613,126千円

営業損失 21,659千円

② 譲渡対象となる資産及び負債

譲渡資産 255,562千円

譲渡負債 7,996千円

③ 譲渡価額及び譲渡日

譲渡価額 247,565千円

譲渡日 平成29年4月1日